

# TTC 提案山行実施記録表

2012年 10月22日 報告者: 三村義昭

山行名	足尾山塊 袈裟丸山 [前袈裟丸山 1878m/群馬県・栃木県]		
実施日	平成24年10月21日(日) 日帰り 15人乗ハイエース利用		
天候/参加人員	天候: 終日快晴 レベル: ★★ 参加者: 申込11名/実施9名 (男1名/女8名)		
パーティスタッフ	CL/計画/写真:、SL、会計、救護:、ドライバ: スタッフ名削除		
参加メンバ	A班:(班長)、 B班:(班長)、 氏名削除		
費用 一人;7,300円 TTCカンパ金 ¥500	内訳:[交通費]ハイエースレンタル料@25000、ドライバ謝礼(¥18000+早朝加算¥2000+距離加算¥1000)¥21000、 燃料代(@120x(450+待機50)/5)¥12000、高速道(相模湖(東)-伊勢崎;ETC通勤割@3600x2)¥7200 <b>交通費合計¥65,200/9人:一人当たり¥7,244</b> 集金(@7300x9人)¥65,700-費用合計¥65,200=残金¥500(TTCカンパ金会計へ)		
	歩行時間	休憩時間	行動時間
がっぱブック	5:30	—	—
計画	5:40	1:35	7:15
実行	5:28	1:39	7:07
登山口-前袈裟丸山(累積標高差登り800m/下り100m/歩行距離:片道約5km)ピストン登山: ・登り:歩行3:02/行動4:05 ・下り:歩行2:26/行動2:45			
実行コースタイム記録			
5名	2名・1名・1名	中央道/圏央道/関越道/北関東自動車道/県73/R122	
本厚木エーパ-前=(林・荻野新宿・鳶尾入口)=	相模湖 IC=	狭山 PA=	上里 SA=
5:00	5:16	5:55	6:20/6:29
0:30	0:30	1:00 (昼食)	0:12 (トイレ)
—弓/手尾根好展望—	賽の河原—	小丸山—	小丸山避難小屋—
9:45/9:50	10:20/10:30	11:30/12:00	12:12/12:30
0:45	林道大滝線 R122 (買い物) R122/県73 北関東道 (藤岡JCT-鶴ヶ島JCT:渋滞)		
賽の河原—	折場登山口=	小中=	道の駅黒保根=
15:32/15:37	16:22/16:36	17:04	17:14/17:28
			18:08
			18:45(夕食)
			19:13
			20:44/20:56
			21:22
			22:10着
コースの概要、特記事項、反省事項等			
<p>渡良瀬川渓谷の上流にある足尾山塊には、1998年5月に庚申山に公共交通利用1泊2日行程で行ったきりで、それ以来実績のないTTC主催山行の空白地帯であったが、北関東道の開通によって日帰り山行も可能になった。そこで、この山域の名峰で300名山である「袈裟丸山」に狙いを定め、本来ならツツジシーズンがベストだが、人の少ない紅葉の時期に設定し、募集したところ11名の応募者があった。そこで当初のマ効利用からマ効(15人乗りハイエース)利用に変更して9名にて実施した。</p> <p>10/21(日)、厚木をいつもより早い5:00amに出発。R122の沢入から舗装された林道を25分ほど走ると目的地の折場登山口(標高1180m、東屋とトイレあり)に計画通りの時刻に到着。15台ほど駐車できる駐車場にすでに10台ほど駐車していた。樹林帯を30分ほど登ると、急に展望が開けた弓/手尾根に達し、正面に紅葉に彩られた袈裟丸山に端正な姿でお出迎えを受けると、マパから思わず、「素敵〜」の声が上がった。さらに30分ほど展望の良い緩やかな稜線を辿ると、露出した溶岩群の上に小石が積まれた賽の河原にでる(少し離れて3ヶ所ある)。ここで寝釈迦のある塔/沢登山コースが合流。この付近はツツジの樹林帯となっており、開花時期の6月中旬に訪れたら見事であろうと想像される。また、5月中~下旬にはアガツオやムササギも沢山咲くという。この付近まで登ると前袈裟丸だけではなく、後、中、奥の袈裟丸山6峰の峰々が望めた。さらに樹林帯を登ると西~北側の眺望が開け、4,5人の登山者が休憩中の小丸山頂上に到着。予定どおりランチタイムとする。袈裟丸6峰の他、紅葉に染まる渡良瀬渓谷の樹林帯の先に皇海山、庚申山、日光白根山、男体山、そして赤城山が姿を見せている。5-6人収容のガボコ型の避難小屋を見送って見事なマカバの純林を進み、最後に標高差300m弱の樹林帯を凌ぐと前袈裟丸山頂上に達する。頂上直前ですれ違ったマカバに「長年山に登っているけど、こんな高齢者ばかりの集団に出会ったのは初めてだ。」と2度も驚嘆の言葉を浴びせられ、我がTTC女性マパは怒り心頭、爆発寸前で頂上に到着した。頂上には我々9人の他、品の良い中年男性が唯一人。その男性に記念写真のシャッターを押してもらった。その男性は、我々の装備を見て、「全員LEKIのホールだし、しっかりした装備をお持ちですから、それなりの団体に所属している方々とお見受けします。」とのコメント。それに気を良くし、最高年齢81歳で、9人中7人が日本百名山全山登頂者からなる神奈川県厚木市から来た「丹沢トレッキングクラブ」所属マパと紹介すると、さもありませんと尊敬の眼差しを受け、マパのご機嫌がすっかり直った。この中年男性は、桐生市在住の「わたらせ森林組合」にお勤めの方で、地元「みどり市」から受注した登山道の笹刈整備後の現場を2日間にわたってご自身の健康増進を兼ねてマカバに登って来たとのこと。その男性と一緒に下山にかかった後の袈裟丸山に人影なく、あとは甲高く鳴きながら走り回る鹿のガッパの世界に戻った。夕日に紅葉がさらに色鮮やかに輝く中、計画に7分遅れて、全員充実感と満足感を持って、ハイエースの待つ登山口駐車場に無事下山した。天気よし、山よし、マパよし!</p>			